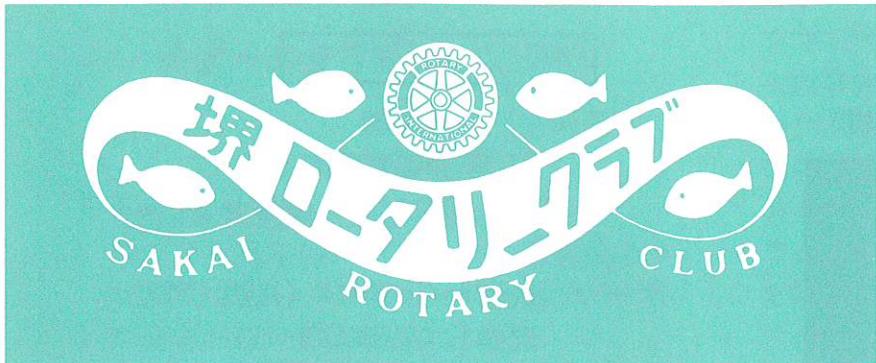


SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN



第2640地区

創立日 昭和26年（1951）2月16日
例会日 毎週木曜日12：30
例会場 ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺3F
事務所 TEL (072) 224-1121
〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺8F
TEL (072) 238-3250
FAX (072) 232-3711
会長 林 豊之
幹事会 堤 泽 憲一
報担当 田内 潤

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



イマジン ロータリー

2022-23年度国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

四つの
テスト

本日の例会

第3459回例会 (24) 2023年1月19日

第2回クラブアッセンブリー
(例会場内)

- 例会ソング 「君が代」
「四つのテスト」

- 今月のお誕生日のお祝い

次週の例会

第3460回例会 (25) 2023年1月26日

職業奉仕フォーラム

- 今月の記念日のお祝い
- 今月の皆出席のお祝い
- テーマ 「メディア論を通して
新型コロナを考える」
- リーダー 奥中職業奉仕委員長

[https://www.sakai-rc.jp/](http://www.sakai-rc.jp/)

<http://www.rid2640g.com/morimoto/>

前週の例会

第3458回例会 (23) 2023年1月12日

— 堺7RC新春合同例会 —

司会進行 木畠 匡 SAA
開会点鐘 10時30分～
国家斉唱 「君が代」
例会ソング 「奉仕の理想」
出席報告 会員 41名
出席率 95.45% (12月8日)
来賓・各クラブ会長紹介
　　風元堺泉ヶ丘RC会長
会長の時間 風元直行会長
ガバナー挨拶
　　第2640地区森本芳宣ガバナー
次年度ホスト挨拶 河野堺清陵RC会長



SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

一 新 春 互 礼 会 一
互 礼 会 11時15分～
来賓挨拶 堺市長 永藤英機



新春講演 講談師 四代目 玉田玉秀斎
～「奉仕の一世纪 国際ロータリー物語」
を講談化して感じたこと～
新春コンサート



ピアノ 竹内 裕美
バイオリン 明楽香名子
乾 杯 丸山孝明ガバナー補佐
閉会挨拶 隼田実行委員長
ロータリーソング
「手に手つないで」
場所 ホテル・アゴーラリージェンシー
大阪堺4階 ロイヤルホール

今月のお誕生日

阪之上清以弥会員(8 日)

陶 貞光会員(18 日)

寺崎 勝彦会員(30 日)

永井 順子さん(17 日)

辻本 夕岐子さん(20 日)

西座 歌子さん(22 日)

倉 洋子さん(30 日)

地区よりお知らせ

RI 第 2640 地区 第 41 回 RYLA 研修セミナー

テーマ 武道からの学び（礼法・作法を理解してみよう）

実施会場 和歌山県立 武道館

場所 和歌山県和歌山市和歌浦西2丁目
1-22

期間 2023年3月25日(土)～3月27日(月)

主催 2640地区青少年・RYLA委員会

募集資格 国際ロータリー第2640地区、ロータリアン及びその家族、会社従業員等地区内ロータリークラブが支援、または奉仕プログラムの対象となっている、学生、留学生、社会人地区内、ロータリークラブが認める、上記学生を支援する関係者、教員ホストファミリー等地区内、ロータリークラブが認め、善良かつ、優秀な推薦者

対象年齢 (ロータリアン、引率学校関係者、ホストファミリー等をのぞく)
14歳以上 34歳以下

参加費用 ライラセミナ一生 (無料)
ロータリアン 1人 (10,000円)

募集期間 2023年1月20日～2月28日

募集人員 ライラセミナ一生 50名、(定員になり次第締め切り)

提出書類 参加申込書、青少年の保護、危機管理に関する確認書(クラブ単位)

応募先 国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所 青少年・ライラ委員会

〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町3-34
けやきONE301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

E-mail: morimoto@rid2640g.com (FAX
またはE-mailにて)

※申し込み書類は、事務局までご連絡下さい。

以上

SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

ロータリーの友 1月号必読頁

雑誌担当 寺崎勝彦

1月は職業奉仕月間です。

※横の頁

○親愛なる日本のロータリーメンバー皆様 P 4
RI会長より、ロータリーの友創刊70周年記念お祝いのお言葉

○R会長メッセージ P 9

居心地のよさと配慮によって絆を結ぶ
私たちは人間関係の中で生きてています。
お互いを大切にし、お互いに心からの気遣いを示すことができれば一生の友達
ができるでしょう。

ジェニファー・ジョーンズ RI会長

○私のプライド、その仕事 P 13

ぬくもり 吹田RC 麻生満美子

○フォトコンテスト結果発表 P 24

RPIC賞「盧舍那仏にポリオ根絶の願いを
込めて」 奈良RAC 吉岡毅

○バックナンバーでたどる

- 1996 緒方貞子さん、栄誉に輝く P 32
- 2004 年大阪（関西）国際大会に P 35
4万5595人（112カ国）が集い、その記録は今も破られていません。

• 2012年 田中作治 RI会長就任 P 37

※縦の頁

○私の一冊 P 13

失敗の科学 大阪難波RC 中川博之

○俳壇 P 14

山門の大戸開けたる良夜かな
東大阪東RC 天野春正

○歌壇 P 14

ビートルズを流し続ける喫茶店

帰れるやあの日の「Let It Be」

大阪天王寺RC 高見篤志郎

○柳壇 P 14

熱い中秋風吹けど焼き餃子

大阪大淀RC 長谷川眞哲

○友愛の広場

・思いやりの心で！石橋会員絵本出版 P 17

御坊南RC 楠本勝彦

・クラブ主催の団碁大会でプロ棋士 P 18

4人目誕生 堺北RC 池田茂雄

○ロータリアットワーク P 22

・ウクライナ難民のためのサポート教育センター支援 泉佐野RC

・ウクライナから避難した女子大生 P 24
を招いて 和歌山城南南RC

お知らせ

ロータリーの友「電子版」閲覧時には、
ID・パスワードは半期ごとに変わります。
(IDはかわりません)

下記の新しいパスワードでご利用下さい。

記

* ID · · · · · 2 6 4 0 - 0 0 0 5 0

パスワード · · · 0 0 0 5 0 - 2 3 2

以上

ハイライトよねやま

「恩返し」のチャリティー奉仕リレー



第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

前回の国際ロータリー第2770地区米山学友会に続く第2弾として、11月13日、第2750・2580地区米山学友会、ロータリアクトクラブによる「南北合同地区行事」が開催され、募金活動とプロギング活動（ジョギングとゴミ拾いをミックスした、スウェーデン発祥の取り組み）を行いました。募金活動では、米山奨学生として支援をいただいた「恩返し」として、日本の貧困に苦しむ子どもたちへの教育支援をしたい、という学友たちの思いに対して、多くの寄付が集まりました。

SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

以前から、こども食堂への支援を行っている第2750地区米山学友会の 李炫漆 イヒョンジン会長（2011-13／東京お茶の水RC）は、「チャリティー奉仕リレーにローターアクターが初参加し、ロータリーファミリーの横の輪が広がり、嬉しく思います」と、述べました。

ウクライナから避難した学友

一母校が受け入れー



卓話を行うオクサーナさん

ウクライナ出身の米山学友、コベリヤンスカ・オクサーナさん（1998-99／奈良RC）が12月15日、自身の世話をクラブであった奈良RCの例会にて卓話を进行了。オクサーナさんは、ウクライナの情勢悪化を機に、母国からの避難を余儀なくされ、米山奨学生時代に自身の留学先であった天理大学と天理市のサポートにより来日。2022年4月から、同大学の職員として勤務しています。オクサーナさんによる、スピーチの冒頭の一部をご紹介いたします。「私は1995年に天理大学に留学し、98年に奈良RCの米山奨学生になりました。当時のウクライナは旧ソビエト連邦から独立し、経済や政治体制の構築を始めたばかりで、国家的に大変な時期でした。来日後も、両親からの支援は望めず、生活費を稼ぐので精一杯でした。米山奨学生になれたことは、勉学に集中できることを意味し、とてもありがたかったです。最初に参加した例会で、奈良RCの会長が『この奨学金は、学生を支援するためのものです。勉強する時間を確保するためのも

のです。そして帰国後は日本に関連した活動を続けてほしい。それぞれの国で、日本語や日本文化を広め、自国との国際関係を促進することを望んでいます。これが、私たちの未来への貢献です。それを忘れないでください』と、仰いました。

この言葉は今でもはっきりと覚えていました。初めて奨学金をもらったとき、喜びだけでなく、自分の中で責任感と覚悟を感じました。会長の言葉の通り、私はこれまでに、約30の研究論文、4冊の辞書、2冊の日本語・日本文化学習者向けの教科書を出版するなど、人生の大半を日本と関わらながら過ごしてきました。今回、このようなご支援をいただいた、母校の天理大学と天理市、そして日本の皆さんに心から感謝の気持ちを申し上げます。ロータリー米山記念奨学会の事業は、日本語や日本文化を世界に広めるためにとても重要な活動であることをお伝えしたいと思います。米山の繁栄と、多くの感謝の気持ちを持った学生たちが、それぞれの国で日本との国際関係を強化するために活動を続けてくれることを祈念します。 米山奨学委員会

SRフォト同好会

一 水 仙 一



熊野道夫会員

1月のロータリーレート

1ドル→132円

ご協力よろしくお願い申し上げます。
R財団委員会より